

回 覧

自治会員各位

萩原町自治会

令和6年度 萩原町自治会 定期総会議事録

2024年4月15日

萩原町自治会長 細谷菜穂子

4月13日に表記会議が開催されました。以下、結果をご報告します。

令和6年度定期総会結果

- 開催年月日 2024年4月13日 10:20～11:20
- 開催場所 萩原町集会所
- 会員総数 320名 (2024年3月末現在)
- 出席者総数 261名

【内訳】出席：63名（うち役員6名）、委任状出席：198名

総会の成立条件である会員総数の過半数を満たす。

5 議事

議長：自治会顧問・目黒善雄氏

議案	タイトル	結果	備考
議案1	令和5年度活動報告	可決	
議案2	令和5年度決算報告	可決	
議案3	令和5年度監査報告	可決	
議案4-1	令和6年度活動方針（案）	可決	（案）を削除する
議案4-2	令和6年度予算（案）	可決	
議案5	役員改選	可決	役員一覧は最終頁に

以下、各議案に対する説明の要点及び主な質疑応答。

議案1（説明者：柳瀬副会長、飯澤副会長）

1.自治会活動の活性化

(ア)-a. 集会所の耐震性調査(別紙資料参照)

災害発生時には萩原町集会所は防災拠点として活用する予定であるが、本建物は昭和 50 年(1975 年)に建設されており、昭和 56 年の建築基準法大改正後の新耐震基準(昭和 56 年 6 月 1 日以降)である「震度 6 強に達する程度の地震で倒壊・崩壊しないこと」を満たしていない可能性が高かった。集会所の耐震性を確認し、求められる耐震性を持たせるために必要な項目について検討することが令和 5 年度の定期総会で承認されており、本年度は耐震診断の実施と耐震補強工事の見積りを取った。

診断は内観、外観、建物の構造、耐力壁の種類と構造、建物の劣化程度等を総合して判断した。基準は倒壊しない(評点が 1.5 以上)、一応倒壊しない(1.0~1.5)、倒壊する可能性がある(0.7~1.0)、倒壊する可能性が高い(0.7 未満)の4段階であり、集会所の評点は 0.56 と倒壊する可能性が高いという結果になった。

次に耐震補強工事をする場合の工事費用の見積りを取った。広間のみを補強する計画(補強計画 1)では 294 万 8 千円、建物全体の外部のみを補強する計画(補強計画 2)では 332 万 2 千円となった。

(ア)-b. 防災会活動自治会活動の活性化

本年度実施した活動は直前に行われた防災会総会で詳しく説明したので、本会での説明はそれ以外の項目のみとした。(添付総会資料を参照のこと)

- ・ 11/19(日) 13:00~14:10 秋の防災パトロール 役員、防災サポーター(班長)、防災ボランティアに声をかけ、17 名が参加した。
- ・ 中央公園に防災を主目的とした井戸ポンプを設置した。
- ・ 住宅用火災報知器設置率調査(消防署による)では任意に選んだ家屋に消防署員がはいり火災報知器設置の調査を実施した。設置率は 65%と近隣地区に比べて高い数字であった。

2. 民生・福祉活動の推進

避難行動要支援者名簿作成に関し、町内在住の非会員にも案内し、全戸のアンケートを行った。自力避難不可能との回答は 9 名で、情報開示可の人は 8 名であった。6/25 の防災委員会議で協議し、7/15 の防災ボランティア/防災サポーター研修で名簿を共有化し、今後の進め方について協議した。最新の名簿では 13 名が要支援者として載っており、2/4 には災害発生時に誰がどのように対応するのかを該当する防災サポーター(班長)とボランティアを含めて 1~3 丁目ごとに打合せた。

3. 町内の親睦・地域文化活動の助成

「萩原町ふれあいまつり」を開催した。年齢を問わず参加でき、町内住民の顔の見える催し物をとということでふれあいまつりを始めた。集会所を使用し

ているサークルや長寿会、子供会などの各団体の代表と執行部を実行委員として、6/3、7/1、8/5、9/9の4回実行委員会を開催し、10/1開催に向けて準備を行った。当日は大人38名、小学生8名、幼稚園・保育園児以下8名の参加があった。町内住民による演芸発表や輪投げ、竹とんぼ作り、外部講師を呼んでの折り紙教室、外部から演者を招いてのシャボン玉演技と大道芸など10時から16時ごろまで大いに盛り上がった。今後もこの活動を継続して町民の交流を活発にし、災害時の援助などが円滑に進められるようにするためのきっかけにしたい。

表1.令和5年度 活動記録(表) 町内の年度中の会員数動向は入会が6戸、退会が6戸で320戸から変動なし。

議案2 (説明者：井上会計担当役員)

自治会費会計では収入総額 1,105,387 円、支出総額 862,673 円、差引残額 242,714 円となった。安否確認用の黄色いタオルを全会員に配った点、ふれあいまつりを初めて行いその費用が掛かったことから集会所建設基金特別会計への繰入れられる額が例年より少なくなり 10 万円とした。

集会所維持費会計では集会所の耐震診断と網戸の修理で 168,136 円を支出した。収入総額 472,708 円、支出総額 255,251 円、差引残額 217,457 円となった。

R.6 年度に集会所の耐震補強工事を実施する場合、集会所建設基金の普通預金の残額だけでは不足するので、定期預金を解約し一旦普通預金にして、そこから支払うことになる。現在の残額は定額預金が 7,141,627 円、普通預金が 2,174,346 円となっている。

議案3 (説明者：今井監査役)

自治会及び集会所に関する会計帳簿、証拠書類、預金通帳を照合したところ、経理事務処理の全般について適正であると認められた。

議案4 (説明者：柳瀬副会長)

4-1 : 例年と同様、自治会活動の活性化、民生・福祉活動の推進、町内の親睦・地域文化活動の助成に努めていくが、今年度新たな取り組みとして次の2つをその中に組み入れた。防災拠点として利用される集会所の耐震性が大きく不足していることから、2,948,000 円を投じて広間を中心に補強工事を行う。住民間の連絡を容易にし、役員の業務負担を軽減するために LINE WORKS (ラインワークス) を試験的に導入する。非営利団体向けのキャンペーン中で 1,000 名までの利用が無料で行える状態になっている。

また「萩原町ふれあいまつり」は継続実施し住民の親睦を図る。

4-2 : 4-1「活動方針」の実行に必要な支出(集会所の耐震補講工事費:294.8

万円、萩原町ふれあいまつり：10万円）を盛り込んだ。

議案5（説明者：細谷会長）

令和5年度役員（承認）

会長 : 細谷菜穂子（2期目）
副会長 : 飯澤かおる（1期目）、柳瀬勇次（2期目）
会計担当役員 : 井上仁志（3期目）
会計監査 : 黒田^{よしとむ}可朝（1期目）、堀岡 良太（新任）
顧問 : 目黒善雄（2年目）

退任される令和5年度役員

会計監査 : 今井 智

【質疑応答】

①ふれあいまつりでは子ども会に多くを期待しているように感じた。現役の人を集めて意見を聞くとか、これからのこの催しの方向を探った方が良いのではないか。自治会活動の活性化により萩原町の地価だけでなく街の評価も高まると思う。（3丁目柴田様）